

平成19年度道路懇談会 開催される

REPORT ④

1 はじめに

道路懇談会は、当機構に職員を派遣していただいている賛助会員の代表の方にお集まりいただいて、当機構の調査研究等の取り組み状況についての情報提供や、ご意見をいただく場として、開催してきました。今年度は5月15日（水）に、26社からのご参加いただき開催されました。以下に、概要について紹介いたします。

2 開会挨拶

冒頭挨拶として、当機構の田中専務理事から、年齢に関係なく、精通した「先生」と呼べる優秀な人材を派遣していただいていることに対して派遣元組織のご理解に謝意が示されました。日本風景街道やシーニックバイウェイ等、心と安らぎ、未来を見据えた取り組みも同時に検討している旨言及し、今年の取り組みを簡単に紹介しました。



3 HIDO の活動—総括報告

続いて、辻常務理事より、平成18年度の当機構における実施状況についての報告がありました。まず、調査研究事業についての説明が行われ、「次世代道路サービス提供システム」（公共駐車場決済・道の駅等情報接続・道路上における情報提供）の官民共同研究の成果を踏まえ、今年度に首都高速道路等で行われる試行運用の実施に向けた支援を行ったことを初めとし、DSRC 運用管理体制の構築、高速バスロケーションシステムの実現や高度駐車場案内システム（スマートパーキング）の実現に関わる支援等を行った旨報告がありました。

また、国際分野でも、ITS の国際標準化活動に関わる支援、DSRC 日本規格の国際標準化支援及びアジア諸国への ITS 導入促進のための支援を行った旨説明いたしました。

ITS 普及促進活動等については、昨年10月にロンドンで開催された第13回



世界会議での展示出展や種々の国際会議への参加を報告しました。最後に、「確認公募」手続きの受託フローについても説明を行いました。

4 HIDO の各部からの報告

次に、平成18年度の当機構の取り組み状況及び、平成19年度の予定について、各部から個別に、以下の紹介を行いました。

- 総務部：平成19年度行事予定および海外調査（オーストラリア・ニュージーランド）
- 調査部：「道路環境ビジネス研究会検討結果」および、「公共施設管理用設備を活用した地上デジタル放送ネットワーク整備に関する調査検討」についての取り組み結果。
- 企画開発部：「交通事故対策 ITS 要素技術に関する研究成果の紹介」「豊田市における ITS の取り組み」。
- ITS 統括研究部：「スマートインター社会実験から本格導入について」および「アジア ETC システムの検討」の報告。
- プロジェクト推進部：「日本風景街道の検討」「スマートウェイ 2007の紹介」

5 意見交換

当機構による取り組み状況について各部からの報告説明の後、各社の出席者の方々からは、当機構の事業および本日の説明内容に関して、活発な質疑や意見交換が行われました。

その中でも、例年にない新しいご意見として、「当機構の活動は環境や温暖化といった国民の関心事項に役立つ要素を含んでいるのであるから国民の視点に立ってアピールする必要がある」とのご指摘や「技術実験から実用化までのスピードアップを図るべき」といった要望をいただきました。この他、「道路やITSを始めとして風景街道や光ファイバーなどの話を聴くと、

技術としては玉がそろってきたと感じるので、今後はそれをどう使いこなすかが真にITSが役に立つかどうかで重要になってくる」というご意見から、HIDO に対して「マザー財団といわれる名に恥じないようにがんばって欲しい」という激励や「パートナーシップを強化して行きたい」とった心強いコメントも多数いただきました。



4 おわりに

道路懇談会は今回で8回目を迎え、HIDOの活動報告、意見交換のほか、懇親会も含めて、ご参加いただいた方々のみならず当機構にとりましても有意義な場となりました。ゴールデンウィークが終わり、連休中に蓄積された仕事を迅速に処理することが求められる多忙な時期にお越しいただき、この場をお借りしてお礼を述べさせていただきますと共に、次年度以降につきましても、更なる内容の充実を図り、道路懇談会を開催させていただきたいと考えておりますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。